

# 消化器内科研修プログラム

## 一般目標(GIO=General Instructive Objectives)

消化器領域は医師にとって、基本となる分野の一つである。この領域の疾患、病態、検査、治療等の知識と理解することはプライマリケアを実践するうえで重要である。消化器領域の疾患に対する初期対応出来る能力を会得し、専門医に相談する適切な時期の判断を習得することを目標とする。

## 行動目標(SBOs=Specific Behavioral Objectives)

1. 消化器症状を呈する患者の腹部の診察が出来、記載できる。
2. 腹部画像診断（単純 X 線、CT、MRI 等）の適応が判断でき、結果が解釈できる。
3. 内視鏡検査・病理組織検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる。
4. 腹部超音波検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる。
5. 血液検査により肝機能を含めた結果の解釈ができる。
6. イレウス管の適応が判断しその準備に必要なものが理解できる。
7. 腹水穿刺法、ドレナージの適応が判断でき、自ら実施できる。
8. 急性腹症について理解し、外科的治療の必要性について判断できる。
9. 消化器疾患(消化管並びに、肝胆膵疾患)を診察し、治療に参加できる。
10. 緩和・終末期において、告知をめぐる諸問題への配慮および臨終の立ち合いが適切にできる。

## 研修方略(LS=Learning Strategies)

### 1. 病棟業務

指導医、上級医の指導の下に 7~10 名程度の患者の担当医となり、検査、診療に携わることで消化器内科疾患の基礎知識と基本手技、治療法を習得する。

入院患者の間診および身体所見を把握し、検査計画とともに入院方針を立てる。

### 2. 外来業務

上級医の指導のもとに診察を行い、臨床検査、手技、内視鏡検査、超音波検査の基本を習得する。

### 3. カンファレンス、勉強会

#### ①内視鏡カンファレンス(毎週水曜日 16 時から)

消化器内視鏡写真の読影会があり、読影の基礎を身に着ける。

#### ②内科合同カンファレンス(毎週金曜日 16 時 45 分から)

英文抄読会と研修医による担当症例の学会形式でのプレゼンテーション。

## 評価(EV=Evaluation)

### 1. 自己評価

EPOC および症例レポート、自己評価表を用いて自己評価をお粉す。

### 2. 指導医による評価

EPOC および症例レポートを用いて評価を行う。

### 3. 看護師、技師による評価

EPOC および評価表を用いて評価する。

### 4. 研修医による評価

EPOC および評価表を用いて診療科全体、プログラム内容を評価する。